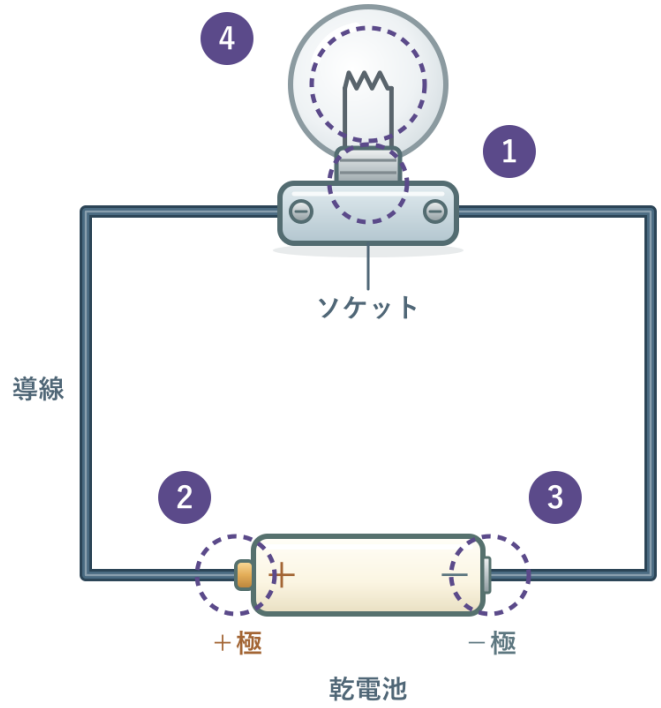
明かりがつかないときの確かめ方

つないだのに豆電球の明かりがつかないとき、電気の通り道のどこが切れているのだろう

見た目はつながっているのに
明かりがつかない



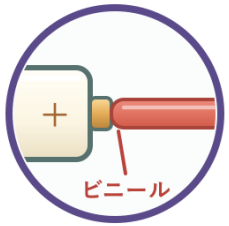
1 豆電球がゆるい



ソケットの中で、豆電球の先が金属にふれていない。

→ 最後まで回して入れる

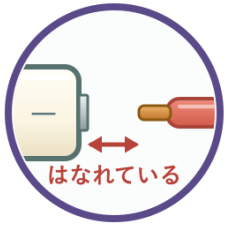
2 ビニールがついたまま



導線の先がビニールでおおわれていて、金属どうしがふれていない。

→ 先の金属が出た導線を使う

3 極からはずれている



導線の先が、乾電池の－極からはなれている。

→ 極にしっかりつける

4 フィラメントが切れている



豆電球の中のフィラメントが切れている。

→ 新しい豆電球にかえる

どの場合も、輪（回路）のどこかが切れている。

1から4の所を順にたしかめて、
切れている所を見つけて直す。

! 安全のために

乾電池の＋極と－極を、導線だけでつながない（熱くなって危ない）。

※ 模式図。ソケットや導線の形は器具によってちがう。